

2025年 12月1日

## 東北電力が提供する「Harmmo（ハーモ）」との連携を開始 ～東北6県・新潟県における脱炭素社会の実現に向けたE Vの普及拡大に貢献～

SMA S（住友三井オートサービス株式会社、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：麻生浩司）は、東北電力株式会社（本社：仙台市青葉区、代表取締役社長：石山一弘、以下「東北電力」）と本日業務提携契約を締結し、東北電力が提供する法人および自治体向けのモビリティソリューションサービス「Harmmo（ハーモ）」の導入提案とサポートを開始いたします。

本サービスは、東北6県および新潟県における脱炭素社会の実現を目的として、E V（電気自動車）の導入から運用・管理・充電インフラまでをワンストップで支援するものです。SMA Sは、モビリティサービス、フリートマネジメント分野で培ったノウハウを生かし、電力・エネルギー領域に強みを持つ東北電力と連携することで、同地域におけるE Vシフトを総合的にサポートしてまいります。

### 【背景と目的】

企業や自治体では、社用車・公用車の電動化ニーズが急速に高まっていますが、充電設備の設置や運用ノウハウの不足、導入後の稼働管理など、E V特有の課題が導入の障壁となっています。

SMA Sは、2025年3月末時点で、E V車両管理理台数12,000台超、導入企業数約2,200社の実績を有する自動車リース業界のリーディングカンパニーです。

ビジネスMaaSアプリ「Mobility Passport」を通じて得た車両台数最適化、ならびに稼働管理の知見を生かし、東北電力とともにこうしたE V導入課題の解消を目指します。

### 【サービス概要】

今般、東北電力と協働するモビリティソリューションサービス「Harmmo」は、以下の通りです。

#### ■ 「Harmmo ZERO」（ハーモゼロ）

初期費用ゼロで充電設備を設置し、再エネ電気による充電サービスを月額制で提供。

SMA Sのリース車両と組み合わせたワンパッケージ提供も可能です。

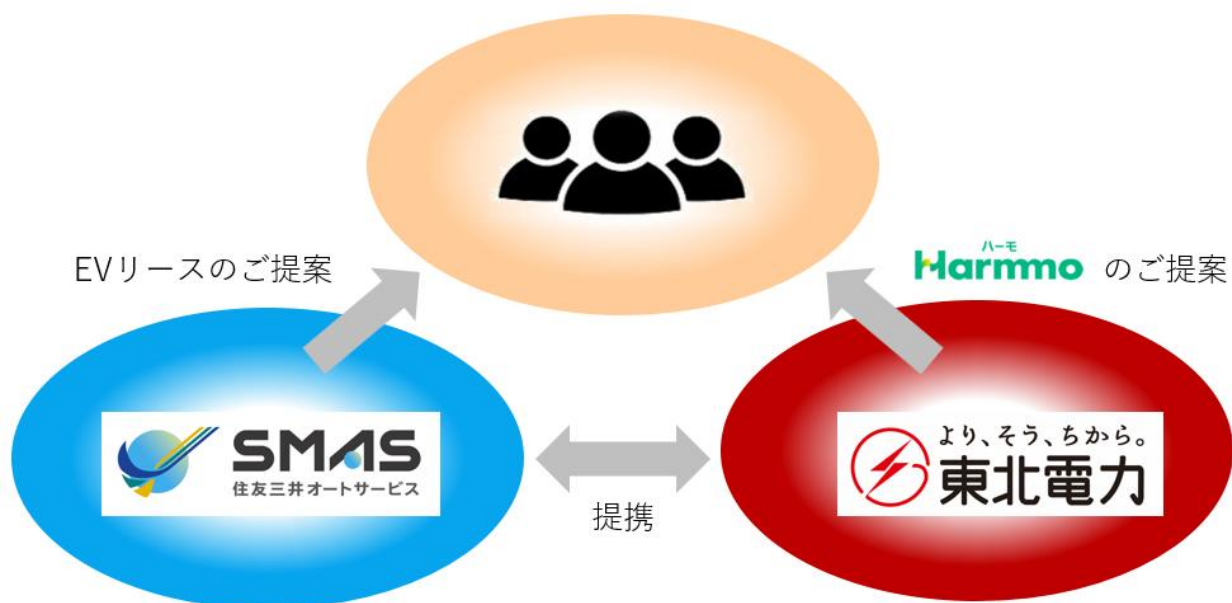
#### ■ 「Harmmo EVバス」（ハーモE Vバス）

大容量バッテリーを搭載するE Vバスに特化し、充電設備の設計から運用・保守までを一括提供。

東北電力の電力インフラ技術とSMA SのE V運用ノウハウを融合し、事業者の運行負担を軽減します。



## サービス概念図



### 【今後の展開】

SMA Sは、「サステナブルな社会に向けたモビリティプラットフォーム」として、これまで全国の自治体と進めてきた「ゼロカーボンシティの実現」に向けた公民連携協定、リユースEVを活用した実証プロジェクトなどの実績を踏まえ、本サービスを通じて地域の脱炭素化とEV普及・推進の両立を目指します。

今後は、データ連携や車両稼働情報を活用したV2X\*実証など、エネルギーマネジメント領域への拡張も検討してまいります。

\*V2X：「Vehicle to Everything」の略で、車両、歩行者、道路インフラ、家庭、電力網など、あらゆるものとの間で情報や電力をやり取りする通信技術の総称。

### 【本件に関するお問い合わせ】

SMA S（住友三井オートサービス株式会社）

URL：<https://www.smauto.co.jp/>

担当：広報部 白濱・廣田

電話：03-5358-6669

e-mail：[okyakusama@smauto.co.jp](mailto:okyakusama@smauto.co.jp)

